

HIVおよび日和見感染症の治療薬およびワクチン77種を開発中

世 界で最も恐ろしい疾病の一つであるHIV/エイズと闘うために、製薬企業とバイオテクノロジー企業は、HIV/エイズおよび関連疾病の治療薬77種を開発中である。さらに各社はワクチン開発への取り組みを強化している。

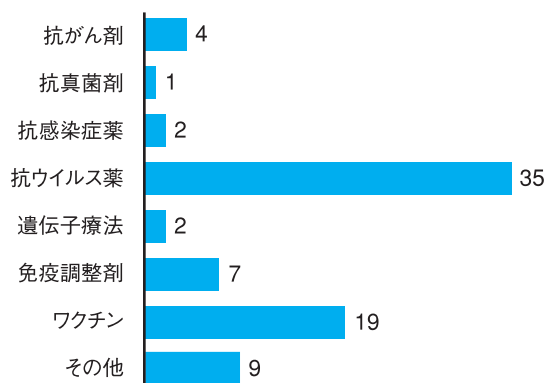
20年以上も前にエイズウイルスの存在が初めて特定されて以来、88種の医薬品が承認されているが、これらに現在開発中の薬剤が加わる。また「世界的にHIV感染を抑制するには、安全で効果的なワクチンが欠かせない」と米国立アレルギー感染研究所のディレクターを務めるアントニー・ファウチ博士の指摘にある通り、ワクチン開発はエイズとの戦いにおいて重要な意味を持つ。

現在ワクチン19種、抗ウイルス薬35種、抗感染薬2種、がん治療薬4種、免疫調節薬7種、抗真菌薬1種、遺伝子療法2種、その他の薬剤9種が現在、臨床試験段階または米食品医薬品局 (FDA) の承認待ち段階にある。

現在開発中のエイズ治療薬およびワクチンの一例:

- ・HIV治療薬に対して深刻な薬剤耐性を示した患者のウイルス量を減少させるインテグラーゼ阻害薬として知られる新しいクラスの薬剤
- ・エイズウイルスから取ったDNAの断片をたんぱく質と結合させることにより、感染の予防、ウイルスが引き起こすダメージの軽減、あるいはその両方を可能にし、免疫反応を高めるワクチン
- ・ヒト細胞の表面にある受容体たんぱく質に結合し、HIVウイルスが細胞に侵入することを阻害する薬剤
- ・ウイルスの増殖を抑えるために、新しい種類の遺伝物質を血管細胞に挿入する技術と、新しい遺伝子を標的細胞に挿入してその遺伝子が細胞の染色体に結合する技術の2つの新技術を用いて、新しい遺伝子を含む細胞を患者の体内に移植するアンチセンス療法
- ・国連合同エイズ計画によると、過去四半世紀におけるHIV感染者は約6,500万人、エイズ関連疾病による死亡者は

開発中のエイズ治療薬*



※2種類以上の分野に分類されている薬剤もある。

推定2,500万人に上り、現在米国内ではおよそ120万人がHIVに感染していると見られる。一方、世界中での感染者は4,000万人に達すると見られるが、その大多数は感染していることを認識していない。昨今、より新しい処方薬の使用増加により、米国内でのエイズによる死亡率は大幅に低下しているが、抜本的な解決方法がない限り、2010年までに世界では新たに約4,500万人がHIVウイルスに感染する可能性がある。

HIV/エイズは今なお世界の人々を苦しめている深刻な疾病である。研究開発志向型製薬企業およびバイオテクノロジー企業は、革新的でより効果の高い治療法やワクチンの開発に注力し、患者が充実した生活をより長く送ることができるよう引き続き取り組んでいる。

米国研究製薬工業協会 (PhRMA)
理事長 ビリー・トーザン